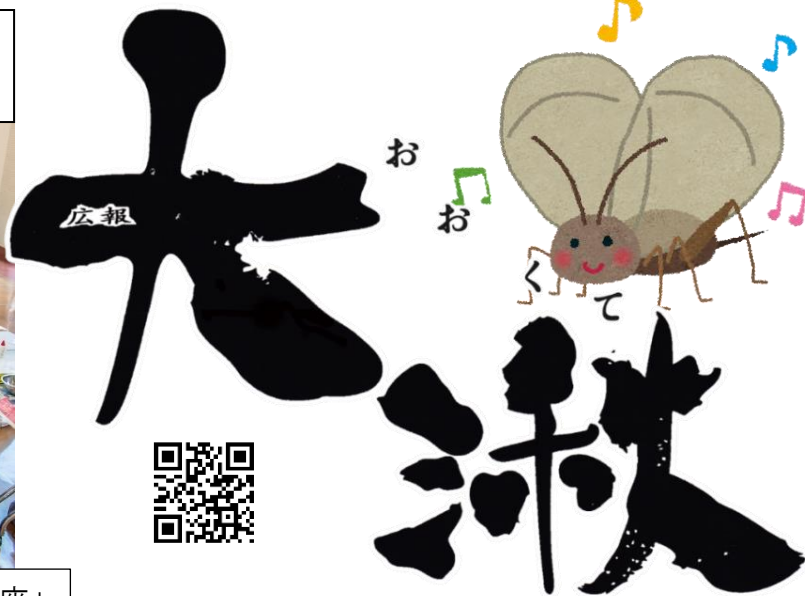


令和5年10月
第447号



公民館講座「夏休み工作講座」



9/23 「大しめ縄作り」

**35名の参加者で、例祭に向けて
神明神社の大杉に大しめ縄が
新しく完成しました。**

おもな内容

- ・公民館講座「夏休み工作教室」・・・p1～3
- ・大湫は不便な田舎ではない・・・p4～6
- ・朝ドラ「らんまん」が伝えたこと・・・p7～8
- ・丸森企画「ぶらり探訪大湫の植物」・・・p9
- ・椅子に座った下半身の体操・・・p10
- ・転入のご挨拶・・・p11

8/20 公民館講座

『夏休み工作教室』

夏休み工作教室に参加して

須山 教子

講師、彫刻家、天野裕夫さんの講座に参加させて頂きました。

粘土は何十年振りの感覚でとても懐かしかったです。

選んだ枯木と、自分と出会った動物、虫、魚等を想像しながら樹脂粘土で固めて行く作業でした。木と不自然にならないように、特徴を生かし、細かい所は割りばし、つまようじで流れを作って行く所が難しかったです。

一人一人に丁寧に教えてくださり、又ユーモアたっぷりに、やさしく指導して頂き、にこやかな時間を過ごす事が出来、本当にありがとうございました。

最後はアクリル絵具で色をつけて完成でした。

私の散歩道、これからも又楽しみが増え、新たな出会いに期待しながら、人生を楽しみます。

貴重な体験に感謝します。



夏休み工作講座に参加して

西山 義人

今回、子供2人（7歳・小学校1年生と4歳・年少）と親子で「夏休み工作講座」に参加しました。

上の子が小学校に入り初めて工作という夏休みの宿題があった為、何を作るのか悩んでいましたが、本人が粘土でコーカサスオオカブトの貯金箱を作

りたいという希望がありました。どのように作るかと考えていた際に、ちょうど木と粘土を使って夏休みの工作作品を作るという「夏休み工作講座」が開催されることを知り、まさにこれだと思い参加しました。

実際にコーカサスオオカブトを作る際には、子供が自らカブトムシの胴体にあう木を見つけ、木を胴体として角や足を粘土で作っていました。

下の子も、自分の作りたいものを生き生きと楽しんで作っていました。

最終的にはプラスチックの筒の貯金箱に粘土を貼り木に見立て、そこに木と粘土で作成したコーカサスオオカブトを付けることで木に登っているコーカサスオオカブトの貯金箱という本人も大満足の作品が完成しました。

作成過程で苦労したのは、コーカサスオオカブトを筒の貯金箱から落ちない様につけることでしたが、そこは天野先生のアイデアと力をお借りして何とか完成することが出来ました。

最後、作品に絵具で色を塗ると、よりリアルな作品にすることが出来ました。

今回この講座に参加して親子で一つの作品を考えながら工夫をして楽しく作ることを経験でき、とても有意義な時間となりました。

来年もありましたら、また家族で参加したいと思っています。



瑞浪市ふるさとワーキングホリデーに参加して、大湫に滞在された方が、公民館講座に参加下さいました。

早川 佳那

先日、公民館講座『夏休み工作講座』に参加をし、「ものづくり」を通して視野が広がりました。

今回は「木」と「粘土」を使用して作品を作り上げるという課題であり、彫刻家の天野先生から、「外部からの情報を大切にする事」を学びました。

先に作るものを決めずに先入観をなくし、木が何に見えるかを想像する事で、より多くの「可能性」を見い出せる事が気づかされました。この気づきは作品作りだけに共通する事ではなく、日々の生活で視野を広げ何かの「ヒント」になり得る考え方だと思いました。

工作講座では、一人一人が全く違う「個性」が見受けられて改めて「芸術の面白さ」を実感しました。

また、瑞浪市のふるさとワーキングホリデーに参加して、大湫に滞在した事で、瑞浪市の方々の「心の温かさ」に触れて優しい気持ちになりました。

自然が多い事や、空がとても広く見えて綺麗である事、星が綺麗な事、何より温かい人が多い事が瑞浪市の魅力です。

中央大学文学部三年生

高森 光

先日は大湫コミュニティセンター主催の『夏休み工作講座』に参加させて頂きありがとうございました。加えて、瑞浪市のふるさとワーキングホリデー期間中は大湫地区に滞在させて頂きありがとうございました。

もともと図画工作が得意ではなかったことから子どもの頃は進んで自由工作を行うことはありませんでしたが、自然の造形から想像して自由に作品を製作する今回のワークショップは新鮮で

非常に楽しい時間を過ごさせて頂きました。自然にある形を活かした作品は、から作り上げた作品にはない魅力があり、これまで製作してきた作品以上に愛着のあるものが出来上がったと感じています。

また大湫地区に滞在させて頂いたなかで、地域の方々で子どもを育てる環境が存在したり自然との共存を感じたりする場面が多くありました。今回の夏休み講座の中でもそのような場面が見受けられ、こちらまで気持ちが温くなりました。

最後になりますが、外部から訪れたにも関わらず温かく迎え入れて下さりありがとうございました。また別の機会に大湫地区へ遊びに行きたいと思えます。



兵庫県西宮市

宮崎 菜摘

楽しさや緊張など色々な感情でいっぱい、初日の私を、大湫の町が出迎えてくれました。

工作講座は印象に残っています。異色なのに優しさや柔らかさも兼ね備えているような天野さんの作品たち・・・度肝を抜かれました。そして、天野さん自身のキャラクターも、これまた素敵ですよ。作品作りの相談もしやすかったです。

何かを決めて作るというよりは、製作していく中で発想を作品に込めていく



という工程は、あまり経験してこなかった、ので、楽しく豊かな時間でした。

また、製作中、皆が笑顔になっていたのを見て、工作講座の良さを感じ、ワーキングホリデーでの就業先で、より好きになったタイルを使って地元でワークショップをしたいと思うきっかけになりました。

大湫は空気が澄んでいて、空と雲が大きく広がります。星空を見上げて皆で歩く道も、田んぼを見渡す一人の散歩もお気に入りでした。

お世話になった棚橋さんとお喋りや、玉川さん、清涯荘の加登さん、溝口さん家族、陶芸家の猪瀬さん、天野さん、橘の店員さん、観光所の方、ご近所の方たち、工作講座で出会った人との交流など・・・色々な出会いと充実した時間が大湫にあつて、とても好きになりました。私達の存在を自然と受け入れてくださり本当に感謝でいっぱいです。

また、大湫を感じに行きます!!

大湫は不便な田舎ではない

2023 年 9 月 25 日 山口 清重

80 年生き抜いてみて何をしてきたのか、80 年といってもたかだか 29200 日ほどこの世の中でうろついただけのことになるが、長い人生だったのか地球が誕生してから 46 億年になるらしい。この地球の誕生からすればたいした年月ではない。

普通の子供とは多少生き方が違っていたようにも思われるかもしれない。だが本人はそれほど変わった人生だったとは思っていない。とりあえず書き溜めた数百ページの文章をどうするか、お蔵入りにしてもかまわないがとも思っている。

今の私は瑞浪市の山奥に住んでいる。多くの人たちが訪ねてきますが、はじめてくる人は必ず迷いました。しかし近年はカーナビとかいう機械のおかげで、ほとんどの方は迷わずにやってきます。そんな山中ですが早朝 4 時すぎには釜戸の新聞店が各社の新聞を 4 km もある大湫 120 戸に雨の日も雪の日も配達してくれます。

瑞浪の中心部には 10 数分で行けます。冬はちょっと寒いですが、夏は多少暑い日があっても下界とは比べものにならないほど涼しい標高 500m の高地は快適な住な処だと思っている。

涼しさは銭で買うことは出来ない。山の上だから水に困ると思うでしょうが、なんと 25 年程前 115 日も雨の降らないことがありました。その時も私の家のミネラルウォーターは滔々と流れ出ていた。なんでこの山の上に水があるのか不思議の一つです。

私のすぐ近くに昔の主要街道の中山道があって、今日では東海自然歩道の北回りコースになっている。海外の人達も時々行き合うことがあるが、尋ねられても言葉がわからないので身振り手振りで何とかやり過ごすが、近年ではスマートフォンで通訳が出来るらしい。

その人達の多くは、東濃地方に世界的に有名な植物が自生していることなどほとんど知らないのではないかな。

40 年程前になります。イギリスの植物学者が来園（ザ・ヤマグチプランツマンズナーサリー）したさいに植物自生地を案内した。この地方に『Dr・三好の誕生地があるはずだ』と質問されたのにはびっくりした。

恵那市岩村町の郷土資料館に展示されているこの方は、三好學で明治時代の初



め、岩村藩の出身で瑞浪市土岐小学校の初代校長先生でした。

誕生 100 年にあたり読みやすいマンガの解説書が出版されています。国際的に有名な明治の植物学者だ。

瑞浪市にも植物研究家は何人もいました。日吉町深沢の南成和氏は、昭和 10 数年ごろ、当時は岐阜県坂本村だったが、坂本小学校の先生をしていた時、ハナノキ（ハナカエデ）の種子を播種して全国の学校に送った。たしか毎日新聞の作文コンクールに児童がハナノキのことを書いたそうで、入選した作文を読んだ学校からハナノキを送ってほしいと注文がたくさんあり、送ったそうです。Dr・三好學のことを教えていただいたのも南成和さんでした。

昭和 59 年になって、京都の小学校の校庭に、そのハナノキが生育していることを確認したと話していました。

日本ではハナノキの種子を播種したのは坂本小学校の児童がはじめてだったのではないかと思います。

昭和 50 年ごろには、瑞浪植物研究会があって会員の柘植厚一先生・板垣達夫氏らの会は、初めて瑞浪市の植物自生地を調査したのではないかと思います。

文化財審議会でも 10 年目に釜戸町出身の、日本野鳥の会の幹部で、豊田自然観察の森館長の大畑孝二氏らの発案で『瑞浪の生きものたち』を発刊した。

発刊にあたり大畑孝二氏の依頼で市外・県外の研究者の方々に大変お世話になり、この方々がいなければ魚、動物、昆虫など全般にわたっての把握はできなかった。ここにお礼申し上げます。

未完成の部分もあり今後、第二巻に向けて努力したい。

今、大湫町では、全国で行われてる動植物調査（環境省が行うモニタリングサイト 1000）の中で、植物調査のみ行っています。

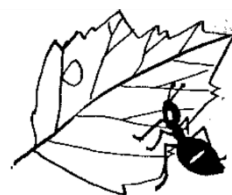
この調査は 100 年続けるそうで、大湫では今年で 6 年目です。毎月第四週の日曜日、午前 9 時から約 2 km を徒歩で植物開花状態を調査しています。

足又の長谷川さんが、毎回カラー印刷された資料を配布していただき、参考資料は植物図鑑になります。

全体では、可愛い花が多い中で早春のカタクリやシデコブシのような、日本の中部地方にしか自生していない樹木から、五月末には神田のヒトツバタゴの群落の白色の花は見事です。

シラヒゲソウ・ヘクソカズラ・クサギ・ツクバネなども植物の和名もいろいろ。ジゴクノカマノフタなんていう植物もあります。ママコノシリヌグイや大湫には自生していませんが、ステゴビルなど、こんな名前をつけたのはだれだ。

蝶やその他動物の世界も同時に調査すると良いのですが、植



物の調査のように簡単ではありません。

大湫町の皆さんもこの調査に参加しましょう。植物だけでなく思わぬ新しい発見があると思います。

今後東濃地方の植物観察に来た遠来の方々の先導役になっていただき、東濃地方の植物自生地の解説者になっていただきたいと思います。この調査は5年続けます。

10月の調査は22日の日曜日です。

中部の植物研究者で名古屋の故井波一夫先生に瑞浪市の植物調査を依頼した際、井波氏は「市内に自生する植物は1000種を超えるのではないか」と話していました。



大湫町文化祭

『未来につなぐ!!』

日時：11月3日(金・祝)～11月5日(日)

9:00～15:00 最終日は12:00まで

場所：大湫公民館講堂・ロビー(展示)

2階会議室(100円コーヒーコーナー)

町民の方の出品作品の募集【10月19日(木)まで】をしています。

たくさんの出品をお願いします。



文化祭のコーヒーコーナーでは、懐かしのレコードをかけたいと思います。
懐かしのレコードをお持ちの方は、貸してください。
ご連絡よろしくお願いします。

大湫公民館 ☎63-2360

朝ドラ「らんまん」が伝えたこと

植物好きを楽しませた朝ドラが9月末に終了した。「らんまん」の主人公（榎野万太郎）は実在した理学博士、牧野富太郎がモデル。土佐国（現高知県）の雑貨業と造り酒屋を営む裕福な家に生まれた。生誕地の高知は自由民権運動の発祥の地でもある。

「自由は土佐の山間より出づ」といわれる、と誇らしげに記しているのは高知市のHP。この自由民権運動家の一人、板垣退助は岐阜市で暴漢に襲われている。岐阜公園にこの板垣の銅像があり、「板垣死すとも自由は死せず」との民権運動の旗印ともなった言葉が記されている。明治政府の専制的な政治に民主主義的要求を掲げて大きなうねりを起こした。高知はまさに日本の民主主義の発祥地でもある。牧野富太郎もこの「民権運動」にかかわっていた。

『万太郎』。人が人を差別するらあて、いやじゃのー。…おまん、昔からいっぺんじゃち、草花に優劣をつけちゃせんかったろ。…生まれた国、人種、どこでどう生きるか、それぞれに面白うて優劣はない。おま

ん、この先もずっと変わりなよー』

これは藩校で学んでいたときの友、佑一朗が万太郎に言った台詞だ。学閥や派閥に反旗を翻し、満州に向かおうとする佑一朗。政府の立場を付度し、万太郎に行動を慎めと迫った植物学教室の徳永教授。この東京大学に別れを告げた万太郎。

「らんまん」の筆者は米国から帰国した友「佑一郎」の台詞を借りて民主主義の大切さ訴えたかったのだろう。

神社合祀令（じんじゃごうしれい）と

南方熊楠（みなかたぐまぐす）

明治時代後半（1906年）、専制政治をおこなう政府により「神社合祀令」が出された。神社の合併・統合をおこなう政策は地域差があったが、三重、和歌山県では威圧的でかつ強引に推進された。

南方熊楠（1867～1941年、和歌山県の生物学者）は、神社の統合は長い間保存されてきた神社林の破壊につながり、貴重な生物の絶滅にもなると反対。『大阪毎日新聞』『大阪朝日新聞』などのマスコミにも投稿し、東京大学の村松任三（むらまつじ

んぞう）植物学教授ら学者に手紙を出すなど精力的に反対の論陣を張った。世論が合祀反対に賛同、ついには「神社合祀無益」と貴族院で決議され収束した（1920年）。だがこの間、統合は進み神社林が伐採された。

ひるがえって、神宮外苑再開発で低木を含め3000本を越える樹木が伐採されることになり、ユネスコの諮問機関イコモスが「樹木が破壊されるのは受け入れられない」と中止を求めた。音楽家の故坂本龍一は小池都知事宛に反対を表明し手紙を送った。作家村上春樹も「一度壊したものは、もう元には戻りません」から「個人的に強く反対しています」と表明。

民間主導の再開発事業により神宮外苑は商業施設が入る高層ビルが建設される予定だ。100年間保護されてきた神宮外苑の環境は、神社林のように生態系が形成されているはずだ。これを無視した樹木の伐採は環境破壊。希少種など特定樹木の移植や、幼木を植えても生物相互で形成された環境は守れない。

明治後期の神社合祀の目的の一つは、神社の継続的経営を確立させることにあった。

神宮外苑の再開発は明治神宮の経営を安定させるためだという。

絶滅していく生物たち

南方熊楠が警鐘を鳴らした生物絶滅の危機。いま、多くの生物が絶滅の危機を迎え、環境省もその生物一覧を「レッドリスト」として公表している。

生物の絶滅を科学的な側面から取り上げたのは、南方熊楠。2022年10月、国際自然保護連合（IUCN）は、絶滅の危機にある野生生物は4万種以上。植物はその約半数にあたると報告した。

約175万種⁽¹⁾の生物が地球上に生息しているとされる。まだ知られていない生物も含めると総種数は、大体500万〜3000万種の間といわれる。が、確かなことはわからない。新種が発見される一方、毎日約100種、年間約4万種の生物が姿を消している。

種の絶滅は人間の活動と大きく関係する。森林の破壊、特に熱帯雨林の消失が種の絶滅と大きくかかわっていると指摘される。

人間が生きていく上で必要な農地の拡

大、住宅建設、都市化による道路、鉄道などの建設、農薬散布、オゾン層の破壊など多様だ。

環境省が公表する絶滅のおそれがある植物（維管束植物）は、年々増加傾向⁽²⁾にある。

(1) 哺乳類約6000種、鳥類約90

00種、昆虫約95万種、維管束植物約27万種。

(2) 2007年1690種、2019

年1786種、2020年1790種。

生物多様性と温暖化

産業革命以降、二酸化炭素の排出が急速に増加した。この二酸化炭素などによる地球温暖化が生物に与える影響は無視できない。温暖化を否定する意見もあるが、今夏の日本各地で気象にかかわる記録の更新が相次いだ。

東京大や気象庁気象研究所などの研究チームが9月19日、ある分析結果を発表した。今夏は「地球温暖化による気温の底上げがなければ起こり得なかった」異常な暑さで、60年に一度しかおきない、と。

2023年の夏（6〜8月）の全国の平均気温は平年より1.76度も高く、1898年の統計開始以来最高だった、と気象庁は発表した。

温暖化により世界各地の浅い川では水温が上昇し、水の酸素濃度が低下し、水生生物が危機に瀕していると米ペンシルベニア州立大学のグループが科学雑誌に発表した（9月14日付）。高水温や低酸素状態が続けば、魚類の絶滅が危惧されると研究グループは指摘している。「水の流れる浅い川で（低酸素濃度と水温の上昇が）起きていることは予想していなかった」という。

生物の絶滅すなわち生物の多様性が失われることは人類にとっても未知の有用物質を失うことになる。衣食住を初め、医薬、観光など人間の生活全てにわたる分野において役立つものを失うことになるかもしれない。

地球上からいなくなつてよい生き物は一つもない。植物の世界から自然、とくに複雑に関係し合う生き物のつながりを学び、そして人類も生物の一員であることを考えさせられた朝ドラ「らんまん」だった。

9/16 丸森企画
ぶらり探訪大湫の植物

ぶらり探訪大湫の植物の

講演に参加して

宮地 真美子

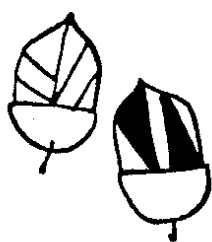
九月十六日、丸森の館内には、講師長谷川明先生による、身近な植物のお話を聞きに、19名の方が参加されました。座敷に座布団を敷き、プロジェクターで草花の写真をしながら先生の分かりやすい説明を聞き、わらいあり、納得あり、あつという間の一時間半でした。シヨウジョウバカマは、葉の先端から新芽を出します。

シデコブシ・タムシバ。山の斜面に咲いているのがタムシバ、平地はシデコブシ。他にも沢山教えて頂きましたが、思い出そうとしても、エートエート・・・アンケートの集計をしたところ、男性



6名女性13名。30代1名、50代1名、60代3名、70代14名。今後の要望として、是非第2回を計画してほしいとの声が多数ありました。春ランマンになった頃、又勉強させて頂ければ嬉しいです。

今後は、メモ・エンピツを用意して、大湫の万太郎こと長谷川先生、参加して下さった皆様ありがとうございました。



公民館講座 「苔玉・寄せ植えを作ろう」

日時：10月29日(日) 10:00～

場所：大湫公民館前のポーチ(雨天時はロビー)

持物：植える苗はこちらでも用意しますが、植えたい苗を持って来てください。

寄せ植えのかたは植木鉢を、苔玉の方は苔玉を乗せる皿等を持って来て下さい。

申込は10月19日(木)までに大湫公民館 ☎63-2360 をお願いします。

主催：大湫公民館 共催：長寿会・寿大学



北部包括支援センター出前講座 椅子に座った下半身の体操

大竹 悦子

あんなに暑かった夏もようやくやく過ごしやすくなりました。

涼しくなつてつい忘れがちな事は、水分不足。暑くても涼しくても必要な水分が、体の臓器に行き届かなくなり、フレイユになる一つの原因ともなります。

水分を摂るとトイレが近くなるなんてことは思わず、時間を決めて補給しましょう。

「コホン」と咳ばらいすると心配なのは失禁。

女性は尿管が男性と比べると短く、大仕事のお産もしています。このへんの事が原因となつて「えっ」と思うここが年を重ねるとありがちです。

その予防に役立つのが下半身の筋肉をつける体操。その体操は股関節、大腿骨保護にも繋がるすぐれものです。いわゆる適応反応とも言える体操です。勿論歩く事でその筋肉も付きます。下半身を動かし、きついのではなく、ややきつい位



の動かしで、体に負荷を与え、筋肉を付ける事に心がけましょう。
テレビを見ている時、ちよつと椅子に腰かける時、お風呂に入った時、寝る前に、日常生活のなかで、下腹を意識してやるだけで効果ありという体操でした。



9/18 敬老の日



敬老の日、社会福祉協議会の大湫支部長・福祉委員・民生児童委員・主任児童委員・各区長さんたちが、75歳以上の方の家に向き敬老の日の記念品を手渡されました。

今年は施設に入っておられる方も対象となります。

北区	18人
西区	19人
神田区	25人
足又区	13人
計	75名

お元気で長生きして下さい。

転入のご挨拶 北区北組



8月下旬に大湫に引っ越して来ました安藤です。妻と息子の3人家族です。私は大湫の出身、妻は中津川の出身で、これまでは恵那に住んでいました。そろそろ新居を構えようと考えたときに、自然とふれあえる場所で子供を育てられること、静かな場所でのんびり暮らせることが私達の希望であったことから、大湫の地を選びました。

引っ越して1ヶ月程が経ちましたが、大湫の程よい静けさを改めて感じるとともに、時折漂う獣の気配もいい刺激となり、自然の近さを感じています。妻にとっては慣れない土地に来たわけですが、ぶらぶらと散歩をしたり、大湫の方々と話をしたりすることで、少しずつ慣れてきているようです。

まだまだ分からないことも多く、皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

安藤 雅人・明奈・彰祐

公民館講座 「森のどんぐりカレンダー作り」



どんぐりに日にちを入れてカレンダーを作ります。

どんぐりの位置を替えるだけで、毎月使うことが出来ます。

周りを色々飾付てオリジナルカレンダーを作ってみませんか。

・日 時：11月3日(金・祝)

9:00～11:30頃

・場 所：旧大湫農協前(雨天時は公民館和室)

・受講料：無 料

・定 員：10名前後(先着順とします)

・持ち物：カレンダー周りの飾り台にする板(20cm×20cm×厚さ2cm)

好きな板に作りたい人は持って来て下さい。

・申 込：10月25日(水)までに公民館に申し込みをお願いします。

申し込み・問合せ 大湫公民館 ☎63-2360



丸森だより

令和5年9月26日

9月丸森企画

- 【陶器製宿場図展示】【10月末日まで】
陶器で焼かれた宿場図、6点展示。中津川宿・大井宿・大久手(大湫)宿・細久手宿・鶴沼宿犬山遠望・加納宿
- 『秋の丸森～フクロウ祭り』 【10月末日まで】
ススキで作成したフクロウ19羽丸森に集合
- 『和宮様ミニ行列の展示』
常設展示ショーケースに入れ展示。11月より大湫宿町並みと共に展示
- 『大湫ぶらり 植物探索』 【9月16日】
大湫の草・花との出会いのお話…講師 長谷川明先生



9月出来事

- ・外国人ツアー 秋のウォーキングが始まりました。来宿される国も様々です。
(カナダ・マレーシア・台湾・インドネシア・スイス・イタリア等)
- ・大湫ぶらり 植物探索: プロジェクターを使ってのお話。19名の参加で面白く・楽しく・分かりやすく1時間半があっという間に過ぎました。次回の希望が多く出ました。

今後の計画

- ・好評である和宮様ミニ行列は10月末日まで小ケースの中に展示します。11月からは規模を少し大きくし町並みと共に展示をします。

9月の団体 (8/22～9/19)

日付	団体名	参加者(人)	国・地域	日付	団体名	参加者(人)	国・地域
8/23	教育委員会	12	市内小中先生	8/30	ウオークジャパン	6	アメリカ・インドネシア・イギリス
9/5	香港ツアー	13	香港	9/8	ウオークジャパン	13	アメリカ・香港・スイス
9/16	丸森：植物探索	19	市内	9/17	ウオークジャパン	13	アメリカ・カナダ・シンガポール・ニュージーランド・オーストラリア・マレーシア
9/17	春日井友の会	5	春日井				

2023.9.21 現在

町 外		町 内		合 計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
231 人	3 人	47 人	3 人	284 人	63 人
R5,4 月～	3,048 人	オープンから	50,622 人	前年同月比	56.3%

10月の集まるう会

★太鼓は.....10月7日 9:30~

10月 21日 9:30 ~ 7:00

太鼓と、おりがみ、をします。おりがみは、文化祭
用です。奥本さねえさんが、見本を用意して、くださ
いました。前回、みんなで、ワイワイ楽しく作りました。
そのつづきをやります。

太鼓の方は、今、「情熱大陸」と、「ルパン」に挑戦中ですか(?) この曲は、以前 竜吟幼稚園で取り組んでいた曲で、幼稚園の園長先生や、麗沢の先生のお世話によって、練習することができました。お二人の先生方、ありがとうございました。

重力画を、みながら、みんながワイワイ練習中です。

短かい曲ですので、是非みんなで、一斉にやっていきたい
と思います。参加下さい。

☆ もう一つ。。。。太鼓のバケ袋づくりを、やっています。
秋山さんの提案で、材料も提供にいただき、とても
ユニークなものになりそうです。参加したい方、いっしょ
に、やりましょう。

☆ もう一つ。。。。10月21日は、「芋ほり」を予定しています。
前日あたりで、草取りをしたいのですがお手伝いをお願い
します。もう一度連絡します。 { 大塚町コミニテ車終協議会 }

大塚町コミニティ連絡協議会
集まる会

大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	リ・アップ “ひよも” だより 《10月のひよも活動》 『高齢者交通安全教室』 日時:10月4日(水)10:00～11:00頃迄 場所:大湫公民館 講堂
	大湫宿お休み処 10月の営業日 1日 8日 15日 22日 29日(日曜日) 9日(祝日) ※ 当日(お急ぎ)の予約は、丸森(☎0572—63—2455)へお願いします。
	ご招待券あります。 2枚 利用される方は公民館へ取りに来てください。 『三島喜美代』遊ぶ・見つめる・創り出す 日時 : 9月16日(土)～11月26日(日) 場所 : 岐阜県現代陶芸美術館
	オススメ!! 大湫分室の本 『直訳やめたら英語が一気にできるようになった私の話』 岩田リュウコ/著 大和書房/出版 読んだら、話せるかも! って思えてきます。 まずは楽しもう! 8月の大湫分室 貸出人数:13人 貸出冊数:32冊
	デマンド交通 8月利用者(大湫～日吉東部) 26便 延べ37名(稼働率19.7%) 皆さん、たくさん利用してください。
	青色回転灯防犯パトロール 10月のパトロール予定者 上旬 : 桐井 賢次 : 柘植 巧 下旬 : 河端 聖哉 : 三浦 信之

JA 釜戸支店の大湫出張

毎週水曜日 10:00～11:00(週1回)

現金での入金・保険の手続き等のみとなります。

(通帳は預けられませんので出金は出来ません)

会長日記

九月六日は国交省の令和五年度「地域づくり表彰」最終審査会がオンラインで実施されました。結果発表は10月頃の予定です。

九月七日には市長と語る会が実施され町民の皆さんに多数（39名）出席戴き、大湫町が抱えている課題や疑問点について市長の考えを聞くことが出来、大変有意義な時間となりました。

九月十日は秋季町内奉仕作業が有り、皆さんのご協力のお陰で道路脇の草刈り・危険木の伐採を行って戴き車での通行が楽になりました。但し、スピードは控え目に安全運転を心掛けて下さい。

九月十八日は敬老の日です、この日は大湫の75歳以上の75名の方に記念品をお配りさせて頂きました。これから健康長寿を目指して頑張ってください。

九月二十三日は大杉の大注連縄づくりが行われ多くの方（参加者35名）にご協力戴き今年も立派な注連縄が奉納されました事、お礼申し上げます。

加藤

9月1日 国交省地域づくりリハーサル

シェアサイクル打合せ

定例区長会・幹事会

6日 国交省地域づくり審査会

7日 市長と語る会

8日 文化祭実行委員会

9日 面高屋小屋屋根瓦下ろし作業

10日 秋季町内奉仕作業

11日～12日 MV（ミュージックビデオ）撮影

14日 第五回学区制審議会

14日～15日 釜小草取りボランティア

18日 敬老の日（記念品配布）

21日 交通安全辻立ち指導

釜小スナッグゴルフ指導

23日 大杉注連縄づくり

26日 第三回連合自治会

29日 議会報告会

令和五年十月行事予定															
三十	二九	二八	二六	二二	二一	一五	十	九	八	七	六	四	二	一	日
月	日	土	木	日	土	日	火	月	日	土	金	水	月	日	曜
広報委員会	公民館講座 「苔玉・寄せ植えを作ろう」	中学生と語る会	公民館講座「ウクレレ教室」	モニタリング調査	大湫太鼓 集まろう会「さつま芋ほり」	足又例大祭	民生委員会議	スポーツの日	神田白山権現例大祭	大湫太鼓	区長会・幹事会会議 公民館講座「ウクレレ教室」	リ・アップひよも 「高齢者交通安全教室」	財産区全員会議	神明白山神社例大祭	予 定
不燃ごみ:10／5(木)：資源ごみ:10／20(金)															



編集後記

先月、広報大湫を市役所に届けに行った時、「広報大湫楽しみにしています。自分が読んでから近所のおじさんに渡しています。」と思いがけず嬉しい言葉をかけていただきました。ありがとうございます。

今月号で編集者が交代しますが、伝統ある広報大湫にまた新しい風が吹いてくれると思います。

夜の虫の合唱が時にうるさく、時に癒され人の感情はわがままです。でも、どのくらいの種類の虫がどんな声を出しているかと想像すると楽しくなります。



毎週、日曜日と木曜日に、公民館前で
地元の野菜を販売する「クテの市」
野菜も多く、安く、新鮮で大盛況です。
11月中まで行われます。
皆さん利用して下さい。

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
令和5年 10月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp>